

大明小学校 校長室から

令和元年6月17日

No. 13

文責 校長 飯久保一男

本校のホームページをご覧ください

パソコンやスマートフォンのインターネットの検索ページで「南アルプス市立大明小学校」と入力して検索をしていただくと、1番目か2番目に本校のホームページの項目が出てきます。そこを開くと本校のホームページ（右図）を見ることができます。次のURLからも開けます。

<http://www.taimei.m-alps.ed.jp/>

本校のホームページは4月より教頭ががんばって、ほぼ毎日更新をしてきています。

※教頭がホームページを担当し、校長がこの通信を担当し
学校からの情報発信を多くしていこうと考えています。

左側にある「学校のひろば」のページを開いていただくと、子どもたちの学習や活動の様子が写真と中心に綴られています。「学校だより」を開いていただくと、この紙面がNo.1から、すべて掲載してありますので、バックナンバーをご覧ください。

左側下の人数は、本校のホームページへの来訪者の数です。4月の始めは20,000人そこそこでした。現在は27,000人に届きそうな人数になっています。本校のホームページがいつから開設されているのかは定かではありませんが、4月からの2か月半で、のべ数千人の方々に見ていただいていることになります。

ちょっと気になったので、南アルプス市内のほかの学校（本校を含めて市内には22校の小中学校があります）のホームページを見てみました。来訪数は児童数などによって違いはありましたが、毎日更新している学校は、本校とは違った形での更新をしている学校が1・2あるだけでした。自慢になりますが、本校は、市内でホームページを一番充実させている学校だといえます。

修学旅行や林間学校はなるべく早くその様子をお知らせしようと取り組みました。6年生の修学旅行は私も一緒に引率（連れて行ってもらったのですが）しました。私が撮影した写真を教頭のパソコンにメールで随時送信し、教頭が次々とホームページに掲載していきました。5年生の林間学校は教頭が引率しましたので、修学旅行の逆で、送られてくる写真を私がホームページに掲載していきました。

ホームページを充実させることで市内一のいい学校などというつもりはありませんが、地域に開き、地域とともにある学校に近づくための一つの工夫です。先週からは、大明小学区の各自治会長さんをお願いをして、学校支援ボランティアのお願いを各地区で回覧していただき、ボランティアの輪を広げていくための取り組みも新たに始めています。保護者の皆さんをはじめ、より多くの方々に、大明小学校を知っていただき、ご理解いただき、身近な学校として親しみをもっていただきたいと思います。そして、地域も一番、保護者も一番、何より、子どもたちも、教職員も一番の学校をめざしていきたいと思います。

前号のご好評(?)にお応えして、子どもの成長を感じる父親の気持ちのこもったコラムを紹介します。

行列のできない名店

日曜日の昼間、ごろ寝でテレビを見ていると、

居間に入ってきた息子(小6)がポツリと私に声をかけた。

「ラーメン食べる？」

「え？ ああ、もうお昼か。そうだな、母さんも出かけているし、たまには出前でもとるか。」

「いや、僕が作るから。父さんも食べるかなと思ってさ。」

そう言って息子はキッチンへ入り、何やらガサゴソとやり始めた。

「へえ、お前作れるのか？」

「けっこうイケるって。カップ麺じゃないよ。インスタントだけど。」

上等、上等。

そういえばインスタントで思い出したが、昔こんなことがあった。

まだ息子が幼稚園のころだ。

妻と3人でラーメン屋に入ったのだが、

注文を取りにきた店員さんに向かって、息子は笑顔で元気よく

「僕は、インスタントラーメン下さい！」

「できたよ。」

その息子が店員よろしく運んできた。

お、卵も入っているぞ。どれどれ…。

「うまいじゃないか。すごいな。」

息子の頬が少しだけ緩んだ。

ふーん、知らないうちにいろいろできるようになっているんだな。

しかも生意気にも

「父さんのは野菜いっぱい入れたから残さず食べてよ。」

あとスープは塩分とり過ぎが気になるなら残した方がいいんじゃない。」

だと。

やれやれ君は母さんか。

でも母さんが帰ってきたら報告するよ。

今日の昼は最高のラーメンだったって。



(「花王」新聞広告欄より)

親バカですが、息子が初任給でプレゼントしてくれた「ポロシャツ」をなかなか着ることができずにいます。妻からは「着てやった方が喜ぶんじゃないの」とさらにバカにされていますが…。